

平成 26 年度日本気象学会中部支部研究会

1. 日時: 2014 年 11 月 27 日(木曜日) 13:30~18:05 (終了後、ロッパにて懇親会)
11 月 28 日(金曜日) 09:30~12:15

2. 場所: 名古屋地方気象台会議室 (名古屋市千種区日和町 2-18)

3. 交通案内: 会場となる名古屋地方気象台には、

(1) 名古屋市営地下鉄東山線・名城線の本山駅 1 番出口から地図の矢印に沿って北方向へ徒歩約 10 分.

(2) 市バス池下 11 系統「春里町」で下車し、徒歩約 5 分.

坂の上の白いドームのある建物が名古屋地方気象台です.



出典: 名古屋地方気象台ホームページ

<http://www.jma-net.go.jp/nagoya/hp/asl/annai.html>

◇ プログラム

11月27日(木)

| 講演番号 | 時間帯 | 講演者 | タイトル | 所属 | 共著者 |
|-------|-------------|-------|--------------------------------------|-----------------|--------------------------|
| | 13:30-13:32 | 事務局 | 開会の辞 | | |
| | 13:32-13:35 | 内田裕之 | 支部長挨拶 | 名古屋地方気象台 | |
| No.1 | 13:35-13:55 | 中田晃志 | 2つの台風による連鎖する遠隔強制 | 三重大学 生物資源学部 | 立花義裕、小松謙介、原政之、山崎孝治、小寺邦彦 |
| No.2 | 13:55-14:15 | 堀口桃子 | 2011年台風6号がUターンした理由とは | 三重大学 生物資源学部 | 立花義裕、小寺邦彦、山崎孝治 |
| No.3 | 14:15-14:35 | 田嶋莉奈 | 風成駆動流理論に基づく北太平洋亜熱帯循環系の海洋構造特性 | 東海大学大学院 海洋 | 轡田邦夫 |
| No.4 | 14:35-14:55 | 内野宏紀 | 地上気象連続観測データを用いた静岡県中部における気象変動の解析 | 東海大学海洋学部 | 池谷亜利沙、川島卓也、轡田邦夫 |
| | | | 休憩 | | |
| No.5 | 15:10-15:30 | 草刈智一 | GCM データを用いた年降水量の非正常頻度分析-その一例として- | 元信州大学大学院 | 寒川典昭、浜口俊雄、中屋眞司、山崎基弘 |
| No.6 | 15:30-15:50 | 水野翔太 | 日本海沿岸域の初冬期における降水量の増加傾向について | 富山大学理学部 地球科学科 | 安永数明 |
| No.7 | 15:50-16:10 | 大瀧莞司 | 東シナ海における梅雨前線周辺の降水特性の違い | 富山大学理学部 地球科学科 | 安永数明 |
| No.8 | 16:10-16:30 | 柳瀬篤志 | 海洋大陸における日周期降水活動の季節変化 | 富山大学理学部 | 安永数明 |
| | | | 休憩 | | |
| No.9 | 16:45-17:05 | 八木 雅文 | 南大洋上における海上風変動の指標-DPOI および KDOI の有効性- | 東海大学海洋学部 | 轡田邦夫、永延幹男、小林大地 |
| No.10 | 17:05-17:25 | 田中隆一 | エクマン層について | | |
| No.11 | 17:25-17:45 | 末松 透 | ポリウムスキャン可能なドップラーソーダーの開発中間報告 | 岐阜大学大学院 工学研究科 | 玉川一郎 |
| No.12 | 17:45-18:05 | 永尾一平 | 名古屋港で観測された夏季海陸風のホドグラフの鉛直分布 | 名古屋大学大学院 環境学研究科 | 菊本雄紀、河合 慶、甲斐憲次、柴田 隆、長田和雄 |

11月28日(金)

| 講演番号 | 時間帯 | 講演者 | タイトル | 所属 | 共著者 |
|-------|-------------|-------|-----------------------------------|-------------------------|-------------------------------------|
| No.13 | 09:30-09:50 | 花井嘉夫 | 移動観測による晴天日における長野県下の気圧分布広域測定 | 信州大学大学院 教育学研究科 | 榊原保志 |
| No.14 | 09:50-10:10 | 宮島高弘 | 北西太平洋域における台風と指向流の統計的關係性 | 富山大学理工学 教育部 | 安永数明 |
| No.15 | 10:10-10:30 | 西尾伊三男 | 赤道付近の対流活動が東海地方の天候に及ぼす影響 | 名古屋地方気象 台 | |
| No.16 | 10:30-10:50 | 坂本理沙 | 物理特性を考慮した赤道域における海上観測ブイの最適配置に関する研究 | 東海大学海洋学 部 | 久保田雅久 |
| | | | 休憩 | | |
| No.17 | 11:05-11:25 | 松本直也 | 伊勢湾の水温が冬季季節風時の平野部の局所気象に影響を及ぼす？ | 三重大学大学院 生物資源学研究 科 | 立花義裕、小松謙介、 原政之 |
| No.18 | 11:25-11:45 | 松尾奈緒子 | 降水安定同位体比から見た紀伊半島の降水システム | 三重大学大学院 生物資源学研究 科 | 山田祐也、芳村圭、 勝山正則、和田恵次、 大野研、立花義裕 |
| No.19 | 11:45-12:05 | 吉川契子 | 気象災害に関心を持たせる高校地学授業 | 静岡県立清水西 高等学校 | |
| | 12:05-12:15 | 理事 | 講評 | | |

講演1件あたりの割当て時間は20分を予定しております。各講演者の方は講演時間15分、質疑時間5分を目安とした講演をお願いいたします。